

3年保護者会が開催されました。・・・19日(火) 午後：体育館

○秀峰一期生とその保護者の方々に対して、「進路内定後の取組について」などの話がありました。今年から、3年生は、進路内定後も朝自習を実施します。目的は、社会人や学生としての必要とされる基本的な知識や心構え、社会情勢などを勉強することで、さらに、内定先の一員として相応しい人物になってほしいと考えたからです。8:15分登校の継続で、わずか10分間の朝自習ですが、小さなことの積み重ねが、卒業するときに大きなことにつながるはずです。内定後、さらに気持ちを引き締めて取り組んでほしいです。



齊藤教頭先生の話

(取組例) 就職進学後に後に必要な知識や技能の習得や資格取得のための勉強、読書など

外部講師をお願いして、危険物取扱乙種試験のための講習会を実施しました。



会議室で行なわれた講習会

○19日(火)放課後、1年生建築環境科は全員、2年生は希望者が参加して、国家試験の危険物取扱試験合格に向けての講習会が実施されました。講師は、合格率100%で定評のある、元工業高校の先生でした。生徒たちは熱心に、話を聴いていました。ぜひ、本校の生徒も100%合格するように、勉強して行ってほしいものです。就職戦線が昨年以上に厳しい中、就職するために、一つでも多くの資格を取得するように、挑戦していくことが求められます。工業、商業ともに、生徒たちの意識をさらに高揚させてください。

第32回県高校総合文化祭の美術部門で、二木真子さん(商業3年)が、奨励賞！



本校生の「ハニア」のちぎり絵中央

○美術部門の展示は19日(火)～21日(木)の3日間、小林市市民体育館で行なわれました。県内43校の高校生の作品408点が展示されました。本校美術部も8点を出品しました。二木さんは、「identity」という作品(右写真の右端)で、見事、奨励賞を受賞しました。



本校美術部の作品(8点)

※8月の全国高等学校総合文化祭宮崎大会後、初めての県総合文化祭で、高校生の文化活動が活発になりつつあることを感じる事ができました。しかし、その活動を多くの保護者・地域の方々に見ていただくためのPR不足も痛感しました。本校文化祭は、大いにPRしていきたいと思っています。

県教育委員会の教科総合訪問が行なわれました。・・・21日(木)



各教科の熱心な事前打合せ

○各教科の指導主事等12名の先生方に授業を参観していただきました。各自が「授業改善の目標および視点」に基づいて、積極的に授業に取り組んでいる成果が表れてきていることを評価していただきました。生徒たちも一生懸命に授業に取り組んでいました。先生方、お疲れ様



2年経営情報科の国語の授業

でした。しかし、まだまだ、改善の余地はあると思います。今回、指導・助言されたことを今後に活かし、さらなる授業改善に努めて行ってほしいと思います。そのためにも、来週の授業参観週間に、教科内だけでなく、教科や学年を越えて、多くの先生の授業を参観し、今後の参考にしてください。

＜県教育委員会の感想とお願い＞

○素晴らしい環境を生かして、純朴な生徒との良好な人間関係を築きながら、素晴らしい教育を実践してもらっていると感じました。生徒たちの授業中の反応がとていいでした。「改善の視点」に立ってのPDCAサイクルによる授業改善の取り組みは、他校の模範ともなるものであり、今後さらに生徒の実態にあった、生徒が自信と誇りを持てる充実した指導を行なってほしい。

『お願い』・・・県下の教職員に対して

- (1) プロ意識を持ってほしい。・・・「教師しだいで生徒は変わる。」
- (2) 授業改善への絶え間ない努力を続けてほしい。・・・「授業革命」
- (3) 教職員同士が共に高め合う関係を築いてほしい。・・・「切磋琢磨」

都城圏域産学官交流会に出席し、秀峰生をPRしました。・・・22日（金）

○厳しい就職戦線の真ただ中、都城市で産学官交流会が開催され、本校から校長、本田主幹、楠田進路対策専門員の3名が出席しました。これまでに最も多い高校など20校が参加した交流会でした。「秀峰一期生」のこと、来年度から「農業科」と「福祉科」が加わることを中心に学校紹介を行ない、秀峰生の就職について、企業等約30団体の方々をお願いをしてきました。各学校ともかなりの危機感を持って、交流会に参加していると感じました。小林工業・商業高校の先輩が企業で頑張っていることや秀峰生が純朴で好感が持てることで本校の評価はいいでした。



高原高校の阿久根校長の説明

卓球バレー競技で、本校生がボランティア活動を行ないました。・・・23日（土）



係員の諸注意を真剣に聴く

○みやざき県民総合スポーツ祭が、小林市民体育館で開催され、**本校生16名**が手伝いました。県内各地から100名以上の参加者がありました。本校生は会場設営、障がい者の方へ椅子を持って行く等の手伝い、点数係、ボール拾いなどで、大活躍で、大変感謝されていました。



点数係やボール拾いでお手伝い

＜卓球バレー＞卓球台の上で、ピンポン玉に似たボール（中に鈴が入っている）を長方形の板を使って打ち合うゲーム。1チーム6名で、全員が椅子に座って行なう。ボールは中央のネットの下をくぐらせる。その他のルールは6人制バレーボールとほとんど同じで、1セット15点で2セット先取したチームが勝つ。障がい者も健常者も一緒に楽しめるゲームで、全国大会など各種大会がある。

第2回の秀峰テクノ講座が開催されました。・・・23日（土） 本校建築実習棟



一生懸命に筆箱を作る小学生

○昨年に引き続き、建築環境科による「ものづくり」講座が開催されました。小中生とその保護者の約10名が参加し、筆箱と写真立て作りに取り組みました。井上・菊池先生と建築環境科の生徒の指導の下に、一生懸命に作っている子どもたちの姿が、とてもほほえましいでした。



写真立ての作り方を熱心に聴く

○授業にボランティア活動など、いろいろなことに本校生が頑張った一週間でした。今週は、11月5日（金）・6日（土）にある文化祭「鈴懸祭」に向かって、学級の展示・合唱等、文化部・同好会や専門系部の準備に忙しくなると思います。保護者・地域の方々も楽しみにしていられっやいます。生徒と教職員が一緒になって、体育大会同様、素晴らしい文化祭となるように協力していきましょう。